



## SSH科学実験研修を開催しました

令和5年10月2日、福井県内のスーパーサイエンスハイスクール（SSH<sup>※</sup>）指定校である高志高校の1・2年生32名に対し、科学実験研修を開催しました。

生徒達は、各自が選択したテーマについて、講師の指導の下、専門性の高い分析機器等を使った実験・観察を行うとともに、その結果についてグループ発表を行いました。グループ発表では、プレゼンテーションの内容を工夫したり、活発な質疑応答が交わされるなど、有意義な時間となりました。

※SSH・・・文部科学省が指定。指定校は「科学技術系人材の育成」を目的に、大学や研究機関等と連携し、独自のカリキュラムにて発展的な内容を学んでいます。

テーマ	講師 (エネ研)
環境水等に含まれる微量金属分析	遠藤主幹研究員
プログラミングと近似計算の基礎	西尾主幹研究員
電子顕微鏡によるマイクロ組織の観察	安永主幹技師
アルデヒド脱水素酵素の遺伝子型判定	田中主幹研究員
β線とγ線の吸収曲線の測定（放射線と物質の相互作用）	栗田主幹研究員
金属の蒸発と薄膜生成実験	石神主幹研究員
蛍光多重染色による細胞分裂像の観察	高城次長・ 畑下主幹研究員

＜実験中の様子＞



## 原子力グローバルスクール2023を開催しました

令和5年10月11日、「原子力グローバルスクール2023」をエネ研で開催しました。

このセミナーは、原子力等のエネルギーをテーマに国際的な視野を養うとともに英語力の向上を目的として、平成30年度から実施しており、外国人講師と日本人講師が全て英語で講義を行います。今年度より開催回数を年2回に拡大し、1回目となる今回は敦賀高校から32名が参加しました。英国及び米国の文化やエネルギー、国際機関の役割と業務内容、インターンシップ経験等について講義を受けた後、4グループに分かれて英語によるディスカッションを行いました。

参加した生徒からは「留学したいと思うようになった」、「英語の勉強のモチベーションにつなげたい」といった感想が寄せられるなど、国際的な視野を養う良い機会になりました。

講義タイトル	講師
世界で活躍するグローバル人材として“国際機関の役割”	下村和生（エネ研アドバイザー）
国際経験と進路選択について	浅原章（福井県原子力安全対策課）
アメリカと幸福追求	トレバー・ボグナ（福井県国際交流員）
英国の文化と原子力・エネルギー情勢	ルーベン・ホームズ （京都フュージョニアリング（株） 核融合エネルギー技術者）



＜ルーベン・ホームズ氏による講義＞

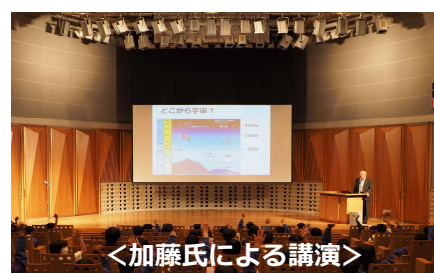
# JAXA筑波宇宙センターからのライブ授業が開催されました

令和5年10月26日、宇宙航空研究開発機構（JAXA）筑波宇宙センターとオンラインで繋いだライブ授業がエネ研ホールで開催され、敦賀市立松原小学校6年生約70名が宇宙について学びました。

第1部では、JAXAとエネ研が実施している宇宙空間で使われる電子部品や太陽電池に関する共同研究、エネ研の加速器についてスライドを用いて分かりやすく説明しました。児童達はメモを取りながら熱心に話を聞き、筑波宇宙センターで実際に使用されている機器や装置が会場の大きなスクリーンに映し出されると、その様子を興味深く見つめていました。

また、第2部では一般財団法人リモート・センシング技術センター参与加藤善一氏が「宇宙から地球を見る」と題した人工衛星の役割を紹介する授業を行いました。

児童達にとって敦賀市が宇宙と身近な場所であることを実感するとともに、宇宙への興味が膨らむような特別授業となりました。



## 研究成果説明会を開催しました

令和5年10月31日、敦賀市のプラザ萬象で「研究成果説明会」を開催しました。この説明会は、県内企業の皆さまとの連携を目指し、エネ研の研究成果の実用化に向けた取り組み等について紹介するもので、当日は、企業・研究機関等から約40名が参加しました。

櫻本宏理事長の挨拶に続き、第1部では、片山重厚技術活用コーディネータより、現在、重点的に推進している宇宙・医療・育種・レーザーの各分野の研究成果の事例紹介や研究開発支援制度等をわかりやすく説明しました。また、第2部では初めての試みとして、6つの研究成果事例ごとにブースを設け、担当研究員より研究成果を詳しく説明した後、参加者の皆さまとの間で、研究成果の実用化に向けての活発な意見交換や質疑応答を実施しました。

今後も、研究成果の実用化に向け、企業の皆さまとの連携を更に加速することを目指し、取り組みを進めていきます。



本誌を読まれての御感想、御意見を下記担当あてお寄せください。

住所:〒914-0192 福井県敦賀市長谷64号52番地1

E-mail:kikakushien@werc.or.jp

TEL:0770-24-7273 FAX:0770-24-7275

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当

